

令和7年度 福岡県立大学 公開講座Ⅱ（ケア・カフェたがわ）報告書

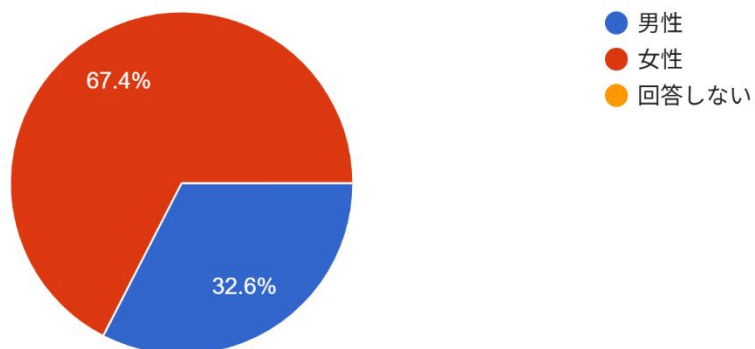
公開講座タイトル (仮タイトル可)	「在宅緩和ケアと人生会議～がんで他界した息子の看取りを経験して～」
開催日時 (予定可)	10月4日(土) 14時から16時
講座講師	関本雅子先生 (在宅療養支援診療所 かえでホームケアクリニック 顧問) 座長：尾形由起子 (福岡県立大学看護学部 教授)
内 容 (概略：目的・方法等)	(目的) (1) 地域住民の方が在宅医療および在宅での看取りの実際についてについて正しく理解する。 (2) 地域での在宅医療について考えを深め実践できる。 1. 在宅医療とは 2. 在宅看取りの実践例 3. 座長 尾形からのまとめ (定員) 200名程度
対 象	対象：田川市民，在宅医療福祉関連専門職（医師，歯科医師，薬剤師，看護師，保健師，PTOTST，MSW，栄養士，ケアマネージャー，医療機関等事務職）
参加者	116名
アンケート	回答者 86名 公開講座Ⅱ 満足度 91.8%

公開講座Ⅱアンケート結果

参加者 116 名のうち、86 名（回答率 74.14%）回答

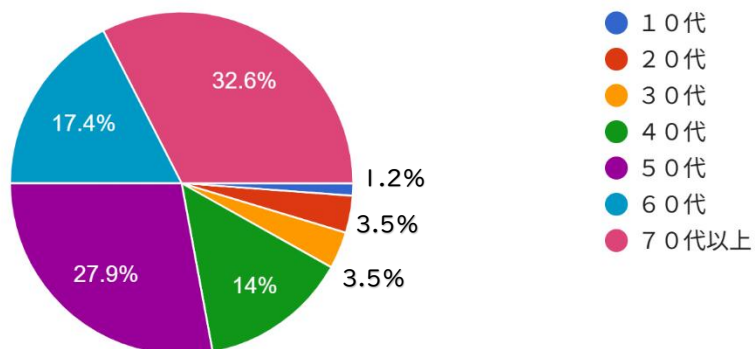
問1 あなたの性別についてお尋ねいたします

86 件の回答



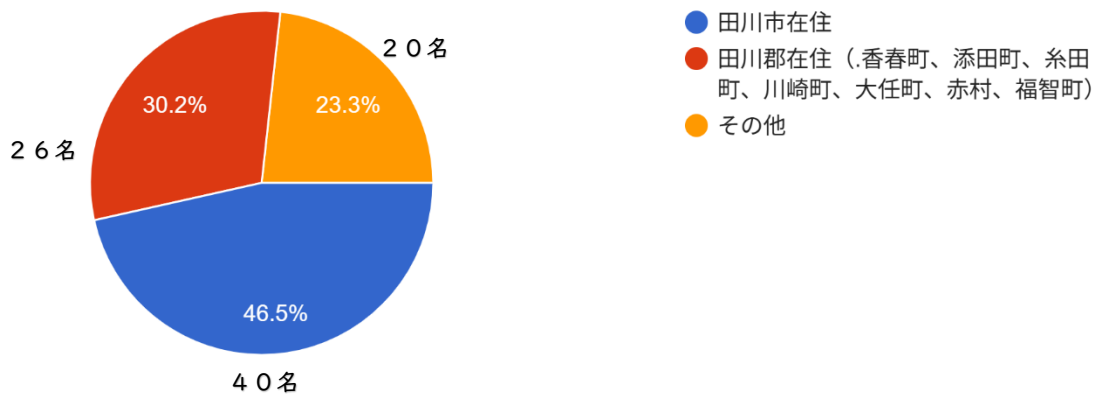
問2 あなたの年代についてお尋ねします

86 件の回答



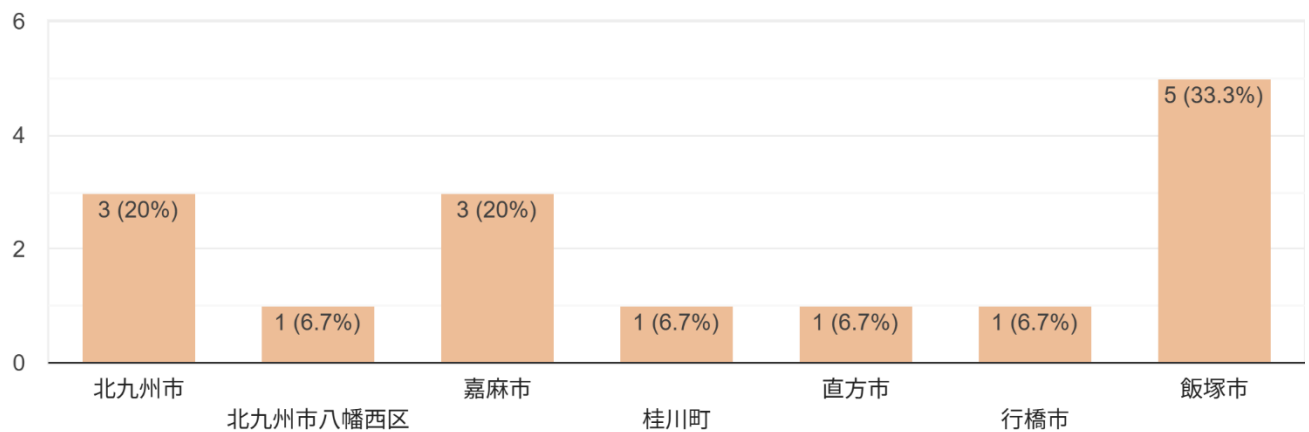
問3 あなたは、田川市在住ですか

86 件の回答



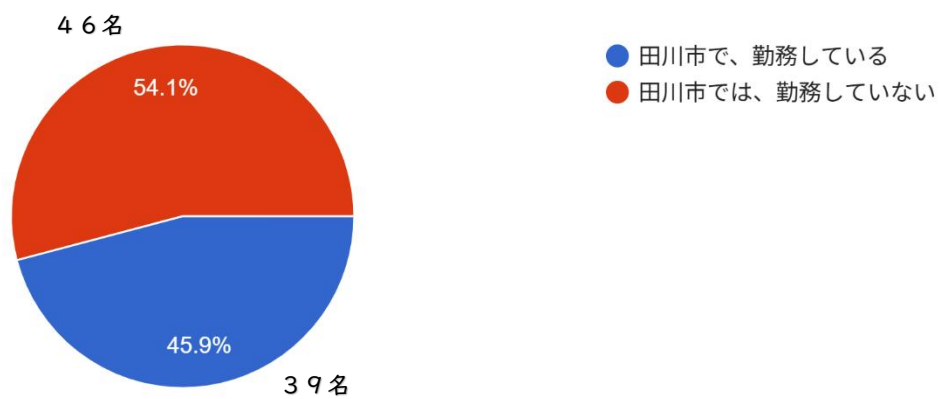
問3で「その他」を選んだ方の記入欄

15件の回答



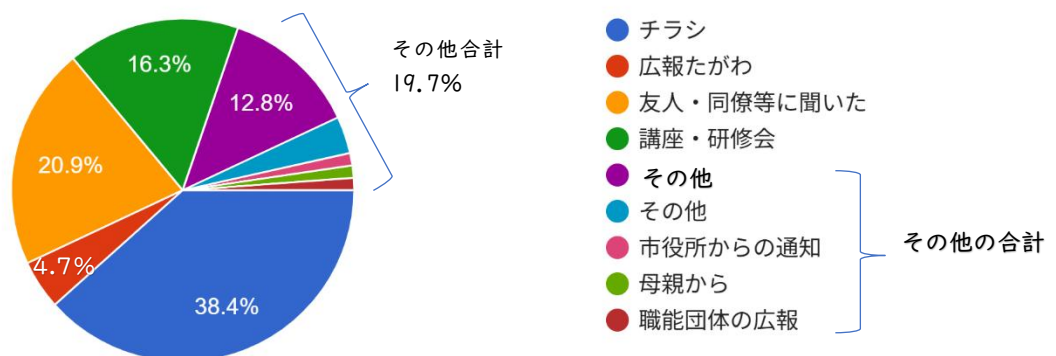
問4 あなたは、田川市で勤務されていますか

85件の回答



問5 今回の研修をどこで知りましたか

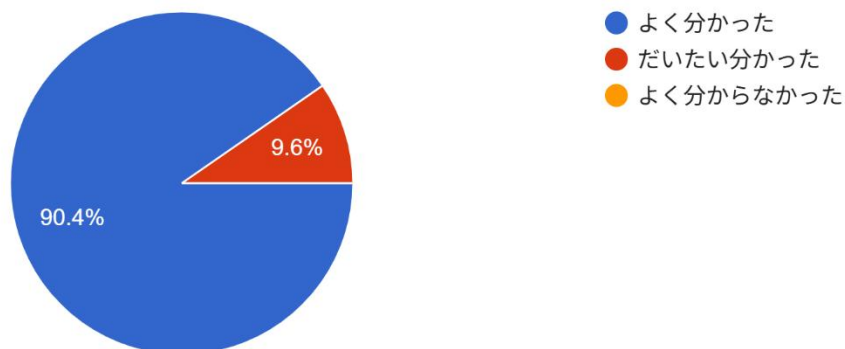
86件の回答



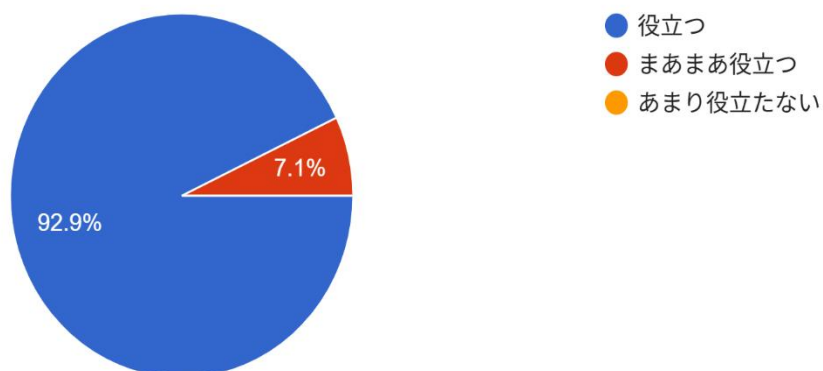
問5で「その他」を選んだ方の記入欄10件の回答

- ・企画コアメンバー
- ・民生委員の勉強会メンバー
- ・市役所等開催スタッフ
- ・市役所からの通知
- ・田川訪問看護連絡協議会
- ・病院関係者
- ・友人・同僚に聞いた
- ・職能団体
- ・スタッフ家族

問6 本日の講演について理解できましたか
83件の回答

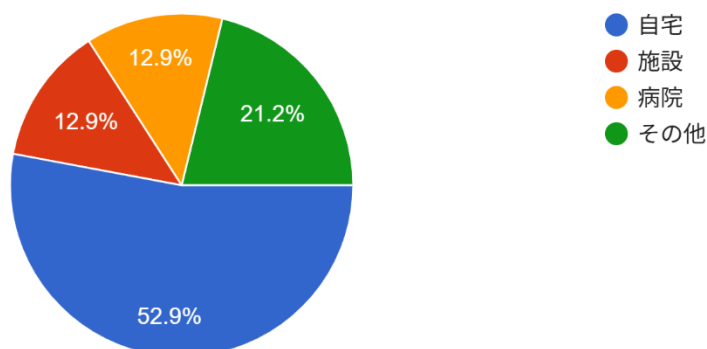


問7 今回の講演の内容は、今後あなたの生活や仕事等に役立ちますか
85件の回答



問8 講演を聞いて、あなたはどこで最期を過ごしたいと感じましたか

85 件の回答

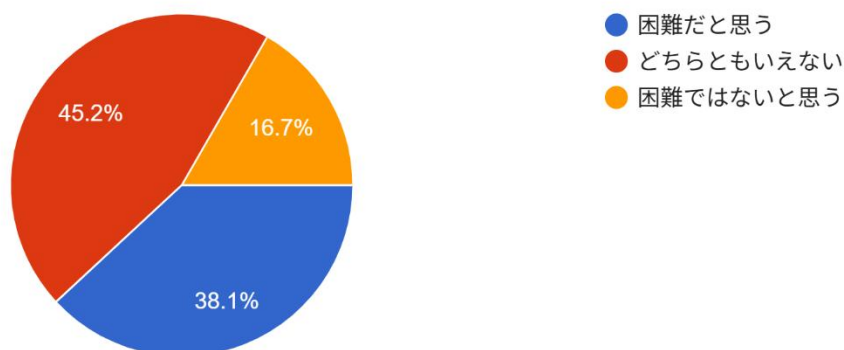


問8で「その他」を選んだ方の記入欄 14 件の回答

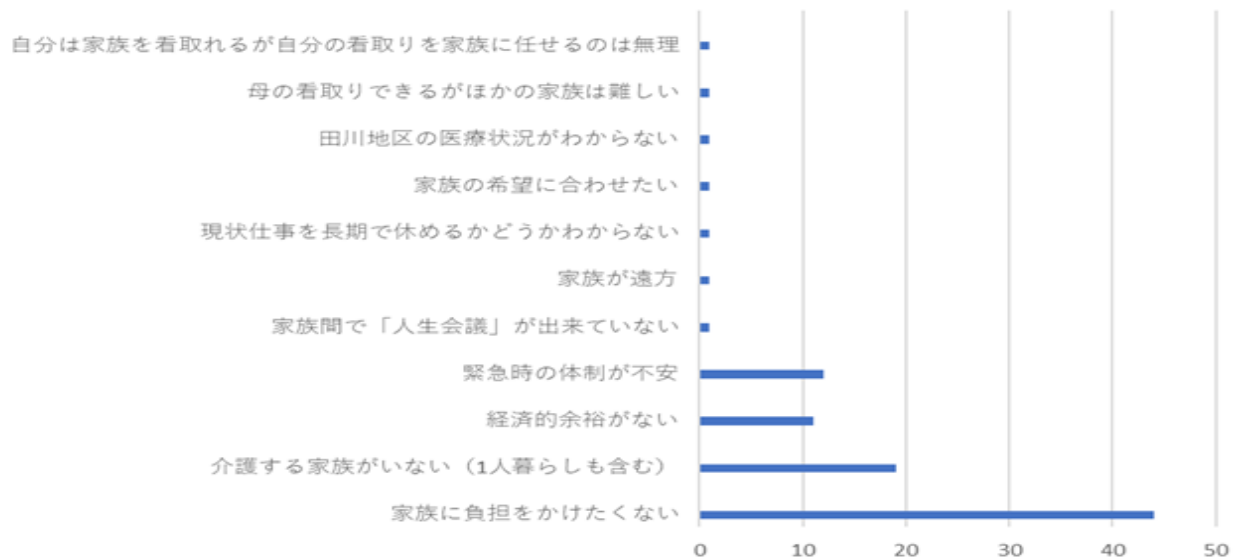
- ・ 自宅か病院
- ・ 施設か病院
- ・ その時の状況による
- ・ 家族に迷惑をかけたくない
- ・ その時の状態や状況がどうなのか、自宅が好きなのはわかっているが
- ・ 子供がいません。自宅では無理でしょう。私としても最期は別に気にしていません
- ・ まだ決めていない
- ・ 自宅で過ごしたいが一人暮らしのため、最期まで見てくれる所がいい
- ・ まだ、自分の最期の過ごし方を考えていません。エンディングノートを書き、夫と子供に伝えることを始めなくてはと思う
- ・ まだ意識していません。今日の講演で自覚しなくてはと考えさせられました
- ・ まだわからない
- ・ 決めていない

問9 あなた自身または家族を、在宅で看取ることについて困難だと思いますか

84 件の回答



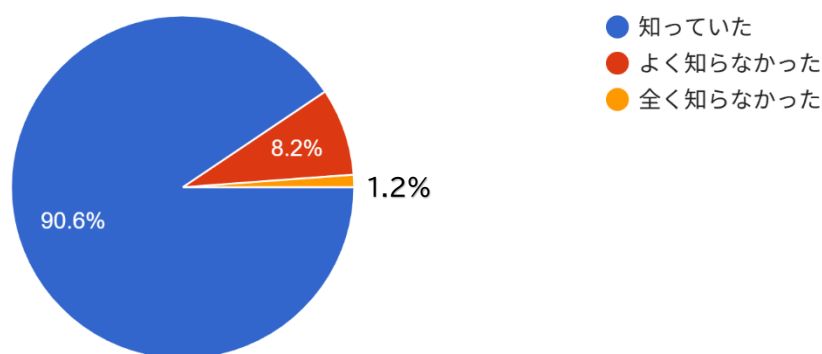
問9で「困難だと思う」「どちらともいえない」を選んだ方は、それはなぜだと思いますか



問 9 についてのご意見を自由にご記入ください 8 件の回答

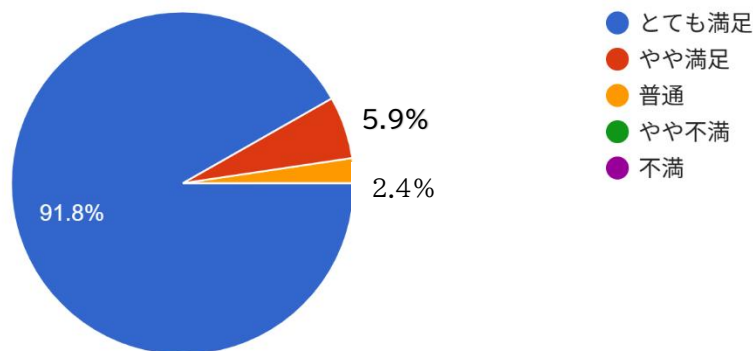
- ・ 家族間での人生会議の大切さを切実に感じさせられましたが、親子間で話しを切り出すタイミングがなかなか難しいと痛感した。
- ・ 24 時間体制をいかに多職種を巻き込んでつくっていくとか、地域のコミュニティ作りが重要だと思った。
- ・ 田川市内で在宅看取りができる医師が増えると良いと思う。
- ・ 現在の介護保険制度を理解して活用すれば可能だと思う。
- ・ 数年前に母の介護をした。普段は、母を父と同居の弟が世話をし、私は週 1 回約 1 時間かかる実家まで毎週通った。病院の付き添いもあった。3 人で協力しながらだったが、大変だった。私が同じような状況になったとき、やっぱり家族には同じように大変な思いをさせたくないとは今は思っている。
- ・ 介護体制が整っていれば可能だが整っていなければ家族に負担がかかるので困難だと思います。
- ・ 子供が帰って来るか分からない。

問10 在宅での医療や介護の相談先として、地域包括支援センターがあることを知っていますか 85 件の回答



問11 今回の公開講座Ⅱ（ケア・カフェたがわ）は、満足でしたか

85 件の回答



問 12 今回の公開講座Ⅱ(ケア・カフェたがわ)のご感想や、今後希望される講演内容・テーマ 等があればご記入ください。28 件の回答

- ・子供2人は遠方にいます、まだ話し合いはしていません、（話したいとは思っている） その時の状況によって治療場所が決まると思う。
- ・人生会議という言葉は初めて聞きました。本人の事を考えるにあたって人生会議はとても重要なものだと思います。
- ・自分自身にしても今後、何があるか分からないことも含めて話し合っておくことが大切だと思っています
- ・緩和ケアが大事だと思った。在宅ケアのお話を聞き少し不安がなくなりました。
- ・在宅ケアに関してこれからも頑張っていきたいと改めて思った
- ・母の最期の時、病院で、医師から延命治療の話があった。母は、人生会議をしていなかったなので、私たち家族が判断をした。そこに本人の意思がなかったこと、本当にこれで良かったのかな、と後々思うことがあった。だから、人生会議は大事だと改めて思った。
- ・超高齢化社会の中で認知症のクライアントを病院だけでなく地域などで支援するような取り組みが知りたい。
- ・分かりやすく良かったです。看護学生時代関西で過ごしました。懐かしいお話であの時代を思い出しました。今は、この地域で看護師をいかしケアマネとして仕事しています。感動させていただきました。
- ・これまでのケアカフェで一番良かった。今後の私の目標にします。ACP も心がけます。
- ・ALP→ACP をできるか。
- ・とても分かりやすい内容でした。
- ・とても素晴らしい講演でした。最後のビデオメッセージは心に残るものになりました。人生会議考えさせられました。
- ・ずっとお話が聞きたかったので良かった。
- ・自分や家族について改めて考えることができた。
- ・病気になってからの事は、あまり考えた事は、なかったですが、自身や家族の病中、病後について今から考えておくことが先々の為になることを感じ、これからよく考えていきたいと思った。
- ・私自身も妹の在宅療養にほんの少し向き合う中で、今日のお話を聴いていたら、どんなにか在宅で母親をみている姪達に対して、もっともっと、優しい言葉をかけてあげられたのでは～と、思いました。又 脳梗塞の主人の父を在宅で 10 年、心に全く余裕がなく目の前の事に対応する事しか出来なかった事を思い出しながら、特に一緒に暮らす孫はどんな薬やりハビリにもまさる父にとっては大きな存在だったと思います。

先生の体験を赤裸々にお聞きして、医療に向き合う素晴らしさを痛感しました。 これからも家族、地域の方々に寄り添える様に学ばせて頂きたいと思います。 本当にありがとうございました。

- ・講演の様な内容が田川地区でフォローがあるか不明。具体的に説明されていたのでわかりやすかった。
- ・定期的に看取りについて地域住民が情報共有する場が必要だと考えます。
- ・娘がガンと診断された。ALP・ACP を大切にしようと思いました
- ・剛先生の御話しは何度かテレビで拝見していたので、間近で看ていた家族として、医師としてどのように思われていたのか気になっていたのでお話が聞けて良かった
- ・両親が高齢で病気を患っている。今後どう生きていきたいのか考えてみようと思います。
- ・なかなか書けなかったエンディングノートを書いてみようと思いました。本当に感動的な勉強になる話でした。
- ・田川では、先生の様な先生がおらず上から目線、在宅で最期をお願いしたいような医師が田川にいない。他市町村に頼むしかない現状。
- ・人生楽しく生きたいと思います
- ・緩和ケアについてたくさんのヒントをいただきました
- ・とてもよかった
- ・お話が面白かった。勉強になることが多く、今後のケアにいかしていきたいと思う。
- ・看取りについて勉強になりました。今後色々考えていきたいです
- ・人が多いのに換気が悪かった。高齢の方も多いし、感染症も流行っているので、環境に配慮してもらえると…と思います。